

## 選出理事候補者一覧

九州・沖縄ブロック 定数 2名

(届出順、敬称略)

	氏名	勤務先
1	郡山 千早	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 疫学・予防医学
2	金子 聡	長崎大学 熱帯医学研究所
3	有馬 久富	福岡大学

## 所 信 表 明

1	郡山 千早	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 疫学・予防医学
<p>この度、本学会 九州・沖縄ブロック理事に立候補させていただきました、鹿児島大学疫学・予防医学の郡山と申します。疫学は、多彩な学際的研究を可能にする分野であると思っております。昨年より、COVID-19 のパンデミックを経験し、疫学会としても様々な情報発信を行う中で、感染症分野の疫学者の必要性を痛感しています。今後もさらに、基礎・臨床を超えた、また保健・医療の分野を超えた多様な疫学研究者が育つことが求められることでしょう。日本疫学会は、そのような研究者の交流および人材育成の場としての役割を担うと同時に、国内外の情報収集および情報発信に努めるべきと思います。私は 1995 年に本学会に入会し、主ながんの疫学を中心とした疫学研究に従事しております。2008 年より事務局長、Journal of Epidemiology 編集委員および広報委員を 3 年間、また監事（2011-2013 年）と理事（2018-現在）を務めて参りました。同時にこの 4 年間は、COI 委員会および選挙規定委員会の委員長として各規定の整備等に努めて参りました。これまでの経験を活かし、微力ではありますが本学会の更なる発展に寄与して参りたいと思ひ、立候補させていただきました。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>		

2	金子 聰	長崎大学 熱帯医学研究所
<p>現在、日本疫学会広報委員長を拝命しております。継続して、学会の広報を行ってゆきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>		

3	有馬 久富	福岡大学
<p>近年、医療・保険の分野では、新型コロナウイルス感染などさまざまな問題が発生しており、日本における疫学専門家のニーズは高まってきています。日本疫学会理事に選任いただけましたら、特に以下の点に尽力いたします。①現代日本社会のニーズにこたえられる疫学専門家の育成：・学会員を増やし、専門家になる研究者のすそ野を広げたいと思っております。・学会内で実施される教育プログラムのさらなる拡充に貢献したいと思っております。②学会からの質の高いエビデンスの発信：・学会からの質の高いエビデンスの創出に貢献したいと思っております。・質の高いエビデンスに基づく政策提言を行い、国民の健康と医療費削減に寄与することに貢献したいと思っております。・エビデンス発信の場としての学会誌 Journal of Epidemiology の高い品質を維持することに貢献したいと思っております。③他学会との連携強化：・診療ガイドライン作成において、システマティックレビュー・メタ解析など専門的手法が求められる時代になりました。これらの手法に精通した疫学専門家のサポートを通して、さまざまな学会との連携を強めていきたいと思っております。日本疫学会の発展と疫学専門家の育成に尽力いたします。</p>		

※勤務先の記載は立候補時の申告に基づいています。